joプロジェクト《キョウユウ》 第3回公演

東日本大震災チャリティー朗読会

想う・寄り添う

故郷（ふるさと）

ー山木屋太鼓の響きと共にー

プログラム

第一部

『暗い夜、星を数えて ～ 3.11被災鉄道からの脱出』

彩瀬まる 著

第二部

『からたち香る』

―― 実業之日本社「桜の下で待っている」より

菊地 茜（お芝居空間イスモナティ）　中川圭永子（企画集団A-A'）　西海真理（劇団朋友）

野田香苗　三田朱美

ゲスト：山木屋太鼓（チーム鴉）

座・高円寺 2

杉並区高円寺北 2－1－2（JR中央線 高円寺駅 北口 徒歩5分）

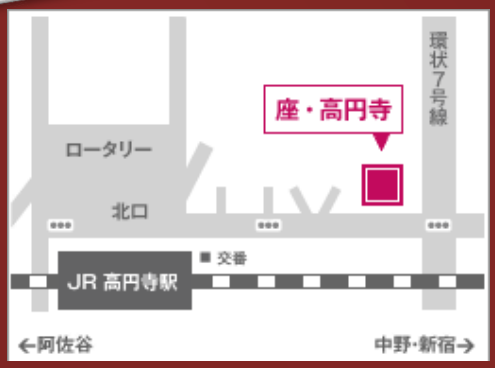
TEL：03－3223－7500

2016年 2月 28日（日） 14：30（開場14：00）

大人　￥2500【当日￥3000】

学生以下　￥2000【当日￥2500】

（全席自由）



お申し込みは　TEL：03－5300－8752

主催：joプロジェクト《キョウユウ》

後援：杉並区

東日本大震災からまもなく5年。未曽有と言われた大災害も、被災地から離れた場所では早くも風化が叫ばれています。復興はまだまだ遠い被災地に対して私たちができること・するべきことは、被災地に思いを馳せ、寄り添うこと。今回の公演は、放射能汚染にも見舞われ、故郷の地を奪われている福島に目を向け、福島県で被災した体験から本をまとめられた作家、彩瀬まるさんの2つの作品を朗読。ゲストに福島県から、山木屋太鼓の皆さんを迎え、和太鼓を通して故郷への想いを伝える力強い響きをお届けします。～「5年前の大震災を忘れない」思いを新たにするために～

「暗い夜、星を数えて ～ 3.11被災鉄道からの脱出」（新潮社）
2011年3月11日、東北への旅行の最中、福島県内の駅に停車中の車内で被災した作家彩瀬まるさんが、それからの5日間に体験した被災にまつわる記録文と、その後ボランティアで福島県を訪れた際の紀行文をまとめた作品。

「からたち香る」
東北・故郷・家族をテーマに書かれた小説「桜の下で待っている」（実業之日本社）に収録。人と人との大切な繋がりを語るとともに、福島県を舞台に、まだまだ遠い復興と、それでもそこで生きていく人たちへの彩瀬さんからのエールが込められた作品。

【 山木屋太鼓とは 】

2001年、福島県川俣町山木屋地区で地域の文化継承と、そこに根ざす若者の育成を願って発足、「美しい自然そして故郷」をテーマに曲を創作し、演奏活動をする。2010年太鼓祭 in 熊谷ドームで全国優勝した翌年3月、東日本大震災と原発事故により避難を余儀なくされ、活動休止状態となるが、一人二人と呼びかけあって練習を再開。福島県をはじめ全国各地のイベントに招待され、パワーあふれる演奏を披露している。

菊地 茜

俳優。
お芝居空間イスモナティに、立ち上げメンバーとして所属。舞台の他、朗読・読み聞かせの活動もしている。

西海真理 ［ 指導・演出 ］

俳優・演出。劇団朋友取締役。
劇団がらんどう、映像テクノアカデミア、劇団青年座研究所、劇団朋友朗読ワークショップ講師。

三田朱美 ［ 企画・製作 ］

joプロジェクト《キョウユウ》主宰。
フリーアナウンサー。FM愛媛を経て、フリー後は、bayfm、NACK5ほかFMラジオでニュースやパーソナリティー。イベント司会、企業VPナレーション、朗読等を中心に活動中。

中川圭永子

企画集団A-A'主宰。劇団3OO退団後、地元武蔵野市で市民参加型のピースリーディングやドキュメンタリー映画の上映会など幅広く活動中。月に一度、様々なテーマで「どらさんのおはなし会」展開中。

野田香苗

言葉と音楽を仲良しにする研究室「和みの風」朗読家。童話、随想、詩などを朗読し、音楽の生演奏を組み合わせた作品を公演。三鷹市山本有三記念館主催「朗読コンサート」に出演。 http://wafuu.exblog.jp/

※当日は募金箱を設置します

お預かりした募金と収益の一部を、福島県の子どもたちを支援する活動団体（福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会等）にお送りいたします

◇申し込み・お問い合わせ◇ **joプロジェクト《キョウユウ》** 三田
TEL：03－5300－8752　mail：jo.p.kyoyu@gmail.com
FAX：03－5300－8751　ブログhttp://jo-p-kyoyu.jugem.jp